

平成24年度第5回看護研究倫理委員会議事要旨

日時 平成24年8月20日(月) 16時15分～18時20分
場所 看護学科棟1階 学科長室
出席者 内田委員長、足立委員、原委員、八塔委員、太田委員、加藤委員、
飯塚委員
欠席者 日原委員
委員以外の出席者 申請者(矢田教授、江藤助教、伊藤看護師)

- 本委員会は、本学医学部看護研究倫理委員会規則第5条の規定に基づく3分の2以上の出席を得て成立した。
- 平成24年7月9日開催の平成24年度第4回看護研究倫理委員会議事要旨を了承した。

議事

1. 看護研究申請書の審査について

(1) 課題名：子育て世代のがん患者の支援ニーズと支援の実態

・・・・・・・・・・資料1

内田委員長から、資料1のとおり矢田教授より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の矢田教授から研究の概要等についての説明、及び各委員から質疑等があった。

引き続き審議の結果、委員会で指摘のあった事項について修正することとし、本件申請について委員長が修正を確認した後に承認とすることとした。

(2) 課題名：青年期にある大学生を対象とした園芸活動の心理的・生理的効果の検討

・・・・・・・・・・資料2

内田委員長から、資料2のとおり江藤助教より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の江藤助教から研究の概要等についての説明、及び各委員から質疑等があった。

引き続き審議の結果、委員会で指摘のあった事項について修正することとし、本件申請について委員長が修正を確認した後に承認とすることとした。

(3) 課題名：精神科病棟における身体拘束中止に関する看護師の判断

・・・・・・・・・・資料3

内田委員長から、資料3のとおり伊藤看護師より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の伊藤看護師から研究の概要等についての説明、及び各委員から質疑等があった。

引き続き審議の結果、委員会の見解を次のように示した。

研究テーマは意義あるものである。しかし、自部署の同僚を研究対象とした

質的研究であるため、研究への参加の情報を守秘しつつ研究を進めることには限界があり、研究デザインとして成立しない。また、そのような研究の進め方は、本来の研究目的や研究の意義を損なう。

まず主体的参加によるカンファレンスを何度か行った上で、出てきた意見を集約し学会等で発表する。その後、他施設で調査を行うなど研究を発展的に進める段階で再度申請することとして、今回の申請については取り下げることにした。

2. 報告事項

(1) 申請者：臨床看護学 助教 木村真司

課題名：新しい食行動評価指標による肥満小児への保健指導の科学的根拠

審査結果：承認（平成24年7月19日付 通知書送付済）

(2) 申請者：地域看護学 准教授 西地令子

課題名：地域看護学講義における当日ブリーフレポート（BRD）活用の効果

審査結果：承認（平成24年7月19日付 通知書送付済）

○ 次回の看護研究倫理委員会について、平成24年9月10日（月）16時15分から開催することとした。